



碧南ロータリークラブ週報

第2504回例会 平成22年6月9日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



2009-2010年度
国際ロータリーのテーマ
THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

会 長 挨 拶



鈴木並生会長

今日は我が社の仕事である「物を運ぶこと」と関係がなさそうで、有りそうな話をさせていただけます。2003年5月に宇宙科学研究所（現宇宙航空研究開発機構）が打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ」が、7年の歳月を経て、この6月13日に地球に帰ってくるそうです。地球から約20億キロメートル離れた小惑星「イトカワ」に2005年9月に到着し、その表面サンプルを採取し、これを地球まで「輸送」という世界でも注目される計画でして、その過程でも数多くの野心的な実験が行われ、成果を上げてきたそうです。そして最大の目的を達成できたかどうか、いよいよ13日にその結果が出るわけですが、その旅路は波乱に満ちていて、化学エンジンの故障や通信の途絶、果ては電力喪失による混乱などで、再突入カプセルに肝心のサンプルが入っているかどうかも確証がないらしいです。だが、それほどの災難にあいながらも地球に帰ってきたということ自体がすでに奇跡に近く、このところ大分霞んでいたように思う、ものづくり大国日本の面目躍如たるところではないでしょうか。ちなみに地球再突入は13日の23時頃、場所はオーストラリアだそうです。

私自身勉強不足で「はやぶさ」の実態、小惑星「イトカワ」の詳しい事などわかりませんが、ただこの「輸送」が無事終わるかどうか13日が楽しみです。

以上で会長挨拶を終わります。

幹 事 報 告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・6月よりクールビズを適用することが理事会で承認されました。
- ・S Aのたすき・役員の名刺等を新調しました。



長田豊治幹事

次年度幹事連絡

- ・例会終了後次年度の理事会を開催致します。



新美宗和次年度幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数76名(内出席免除者16名の内出席者13名)出席者64名	
出席対象者 64/72名	出席率 88.89%
欠席者12名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 杉浦 健次君 去る6月7日、全国危険物安全大会に於いて財団法人全国危険物安全協会理事長様より表彰状をいただきました。
- 鈴木 並生君 6月23日、最終例会までカウントダウン、あと2回よろしく。
- 植松 敏樹君 皆様の浄財で成り立っています日本赤十字社の愛知県の病院・血液センター等施設の監査がすべて終わりました。ありがとうございました。
- 長田 豊治君 6月5日には報徳薪能 羽衣を堪能させて頂きました。西方寺様に感謝、感謝。
- 長田 銑司君 いいことがありました。
- 鶴田 光久君 本日で、修正出席率100%が連続2回でございます。連続3回、100%修正出席率をよろしくお願ひします。
- 角谷 信二君 6月6日(日)平成22年度碧南市消防団ポンプ操法大会無事終了しました。鈴木会長はじめたくさんの方にご臨席賜り誠にありがとうございました。
- 清澤 聡之君 去る5日、「弥陀の松」伐採・感謝法要・報徳薪能が厳修かつ盛大につとまりました。合わせて、8日に松が伐採されました。
- 黒田 泰弘君 過日の町内会企業見学会において、菅原様にバスガイド役をして頂きました。心より感謝申し上げます。
- 小林 克成君 本日卓話のお時間を頂きます。よろしくお願ひします。
- 服部 弘史君 本日、卓話をさせて頂きます。よろしくお願ひ致します。

卓話 「私の履歴書」

小林 克成君

【はじめに】

ロータリークラブに加入させていただきもうじき1年になります。このような機会をいただきありがとうございます。「私の履歴書」のご指名ですので手短かにわたくしの生い立ちを披瀝させていただきたいと存じます。

【出生から幼少期】

昭和38年11月、北海道旭川市に地元の新聞社に勤める父と、母それに3歳違いの弟の4人家族の家庭で育ちました。冬はとても寒く、家族で銭湯に出掛けた帰りに、頭上に載せた温かいタオルが、家までの10分ほどの帰路に凍りつきカチカチになっていることもありました。日本の気象台の観測史上最低気温はこの地で明治35年1月に記録された氷点下41.0度だそうです。その後、父の転勤に伴い、小学校は留萌市、中学・高校は函館市で過ごしました。

【高校・大学そして社会人】

高校1年の春に札幌市に引越し、地元の北海道大学法学部に進み、昭和63年、東海銀行に入行しました。バブル絶頂期で、前年の昭和62年にNTTが株式を上場、最高値318万円を付けるとともに、平成元年12月には日経平均が38,915円という史上最高値を付けた頃です。金融機関の就職人気は高く、業務内容が面白そうだし、潰れそうもないということで(あくまで当時は・・・)銀行を選びました。都銀でも旧財閥系は学歴とか競争が厳しそうだし、非財閥系でも関西の都銀



は、何となく関西弁が怖かったので東海銀行を選びました。

【昭和63年～平成5年】

東海銀行札幌支店に配属となりました。当時の支店の雰囲気は、バブル期とはいえあまり無理せず、業績は可もなく不可もなくといった風で居心地の良い店でした。平成3年2月、取引先の受付をしていたひとつ年下の佳江と出会い結婚しました。半年後、東京の新宿新都心支店に転勤となり、その後18年間は本部を含む東京勤務です。平成3年までは有価証券投資、不動産開発・投資それにゴルフ場造成案件に翻弄された感がありました。例えばゴルフ場では、東京近郊はもとより九州までゴルフ場開発案件の紹介を受け、銀行やノンバンクが開発資金の融資を行うとともに、開発資金の太宗を開場予定ゴルフ場の会員権販売代金により回収を行う仕組みが通例でした。平成3年秋、行過ぎた地価上昇を沈静化させるべく、銀行の不動産・建設・ノンバンクへの融資規制（いわゆる「三業種規制」）が始まると、加熱した投資が一気に冷え込みました。まさに「銀行冬の時代」の入口でした。

【平成6年～平成12年】

大手町の東京本部での6年間はその後始末の仕事が多かった。主に上場企業の流通・総合商社を担当しました。建設・不動産を含め東京の大口融資先のほとんどが東京本部取引でしたので、世界的な景気低迷の中、連日のように経営会議のための資料づくりや、実査を行いました（チームを組んで会社にお邪魔して実態調査を行うものです）。銀行も相次ぐ不良債権の償却・引当で赤字決算が続き体力が消耗していきました。東京本部で約6年間で過ごしたあと、三和銀行との合併を控えた東海銀行職員組合中央執行部の書記長に選出され、合併後の職員の処遇や新しい組合組織の立ち上げなどについて組織内外での交渉や労使協議を行いました。

【平成13年～平成21年】

職員組合から現場に戻り、横浜、新宿そして新橋支社の各次長を経験しました。いずれも大規模拠点でしたが、平成18年に東京三菱銀行とも合併していましたが、出身行の違いによるカルチャーショックを大いに受けました。そんなある日、ある方の薦めで気功（智能気功）に出会いました。習い始めて暫くすると、気功の「調身・調心・調息」をすると、緊張していた気分がリラックス出来、健康も増進しました。何よりも考え方も変わりました。例えば、生きていれば嫌なこともある、腹が立つこともあるでしょう。しかしそう思っているのは、実は自分の気持ちであって、周りは何も変わっていない。要は、「気の持ちよう」で勝手に苦しんだり、ストレスを自ら抱え込んでいるということに気づかされたのです。

【おわりに】

今迄もそして現在も、良い出会い・経験があって今の自分があるのだとつくづく思い感謝しています。これからもこうした出会いを大切にしていきたいと思えます。最後に、「子、四を絶つ。意（＝私心）なく、必（＝独断専行）なく、固（＝かたくな）なく、我（＝我を張る）なし」（『論語』）。とりとめのない話で恐縮でした。ご清聴ありがとうございました。

服部 弘史君

皆様、こんにちは。親睦活動委員会の服部です。この伝統ある碧南ロータリークラブに入会させて頂き、間もなく4ヶ月になろうとしています。本日は、貴重なお時間を頂き、卓話をさせて頂きます。よろしくお願い致します。

動物占いでは、本質キャラクターはひつじ、表面キャラクターはライオンだそうです。一見、ライオンのように頼りになるように見えますが、実はひつじのようにウールで覆われ、本当の自分をなかなか出さない。又、寂しがりやでひつじのように群れで行



動する事を好むとありました。自分では、なかなか当たっているなあと思います。

家族は、近衛兵だった事が自慢の90歳の祖父と仕事に興味と言い切る母。そして妻と娘4人の8人家族です。それでは、私の39年の履歴を辿りたいと思います。

大阪万博の開催、よど号ハイジャック、ビートルズ解散の1970年の第二次ベビーブーム世代、昭和45年12月29日、服部家の長男として産まれました。ちなみに、12月29日生まれはトヨタ自動車の奥田元会長やタレントの桜金造という有名人と同じです。

産まれてすぐ、父が近所のお寺で私の名前を付けてもらってきました。父、一彦の一をもらい、その名前は「かついち」。その名前をお産で入院中の母に伝えるとどうしても、その名前は嫌だという事になり、母の為なら何でもする父でしたので、すぐその名前はとりやめになりました。そして次に父は、岡崎のお寺で3つの名前をもらってきました。候補は、「おさむ」「まこと」「ひろし」でした。その中で母が選んだ名前が「ひろし」でした。ついに私の名前が決まりました。

幼少期は、創業間もないという事で両親が朝早くから夜遅くまで働いていましたので、2歳から碧南保育園に入園しました。保育園のお迎えはいつも一番最後だったような気がします。おむつも保育園でとってもらいました。寂しかったのか、ふとんの角をひとさし指でこすらなければ、眠れない癖がありました。ロータリークラブの入会申込書に趣味は料理と書きました。冷蔵庫にあるもので、料理をつくるようになったのも、こどもながらに多忙な母の為に何か役に立ちたいと思ったからです。小さい頃から、家族は助け合うんだよ！という事を母から教えられて育ちました。

そして、碧南保育園から近くの鷺塚保育園に転校します。鷺塚保育園から鷺塚小学校へ上がる際、先生から「自分の名前の書けない子は、ひろし君を含めて二人だけです。」と言われたのを覚えています。小学校では、野球に明け暮れ、少年野球チームでショートを守り、東中学校でも野球部に入部し、部活を一生懸命にやりました。野球少年でした。東中学校では、生徒会長もさせて頂き、生徒会活動も一生懸命に行いました。

高校は刈谷学校群を受験し刈谷北高校へ進学しました。大学は、母の強い意向でどこでもいから、国公立大学へ行きなさいと厳しく言われましたので、当時の共通一次試験を受けまして、結果から第一志望は関東の大学、第二志望は九州の大学。第一志望はあえなく撃沈。第二志望は、昔から日本史が好きでしたので、日本史でよく登場したという理由で選んだ長崎の大学を受験し、進学しました。そして、大学の寮に入寮しました。門限は10時。部屋は畳が6枚敷いてあるだけ。もちろん風呂、トイレ、食堂、全て共同です。その中で、横並びの部屋の4人の一年生と仲良くなりました。大阪出身で、3浪の末入学した人、福岡出身の人、親が自衛隊で転勤ばかりで2浪の人。みんな仕送り額も少ないので、アルバイトを遅くまでしていました。0時頃に集合し、4人でマー جانをしながら、将来の事をよく語り合ったものです。ゼミも四人一緒。安城市出身の教授がいたのでそのゼミを選び、財務諸表論というのを学びましたが、難しく今でもよくわかりません。

大学の部活は、その4人と相談し、縦社会が好きな私はサークルはやめよう、体育会系の「部」と決めて、入部したのが卓球部。4年間、練習に励み、いろんな大会に出場し、充実した日々を過ごしました。又、この時期に鹿児島から隣の短期大学に来ていた妻と知り合いました。

アルバイトは、いろいろやりましたが、もっとも長く続いたのが家庭教師。何人か教えました。今も交流があるのは、有田焼の窯元の息子です。車で1時間以上かけて通いました。家の中は赤い絨毯がひいてあり、毎回、食事を出してくれるのですが、立派そうな器で頂く。彼が、中二と中三の二年間教えました。高校で絵付けの勉強をして卒業後、京都の学校で焼き物の勉強をし、その後、京都で何とかという先生のもとで修業し、今は有田に帰り、焼き物の世界で頑張っ

ています。昨年、東京の日本橋高島屋で初の個展を開きました。

卒業後、大手住宅メーカーの営業をしました。私は口が上手ではなく、社交性に長けているわけではないので、そのお客様のお宅に、通いすぎだと言われる位、毎晩通いました。日参しているうちに、入社したての商品知識もあまりない私に住宅の建て替えをお願いして頂きました。あの時の嬉しさは忘れません。手付金を上手に数える事ができず、何度も数えなおした記憶があります。昼食は車中で、夕食は深夜。そして、家に帰って寝るだけという日々でした。ちなみにこの頃からめきめきと横に成長をはじめ太り始めました。この頃があるから今の私があると思っております。

現在は、父の亡きあと、合資会社服部不動産を継いでおります。新美惣英さんに推薦人になって頂き27歳で青年会議所に入会し、入会二年目に杉浦栄次理事長の理事長セクレタリーを担当し、多くの刺激を頂きました。行った事のないお店にも連れて行って頂き、社会勉強をたくさんさせて頂きました。翌年の45周年、粟津康之理事長の下、周年の財務理事をさせて頂きました。その年に、粟津さんから頂いた「一年間、ありがとう」のメッセージカードを今も大事にとってあります。そして、34歳で理事長をさせて頂きました。県内で最年少理事長でしたので、愛知ブロック会員大会で送辞を述べる素晴らしい機会を頂いたのも思い出深い一つです。

多くの友人、先輩に恵まれて今日の私があります。又、無償の愛で育ててくれた両親に感謝をしています。現在は碧南市消防団に入団して自分より一回り以上、下の若者達と訓練に励み、日々、学びの機会を頂いております。これからも、「謙虚な心で精進を怠る事なく」の精神で、邁進して参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

次回例会案内平成22年6月23日（水）
最終例会 役員挨拶